

**KOFU21**

Chartered 1990

甲府 21 ワイズメンズクラブ

**THE SERVICE CLUB OF Y.M.C.A.  
THE Y'S MEN'S CLUB OF KOFU 21**今月の強調  
テーマ**2026 年 7 月会報  
キックオフ・P R**

2026 年 07 月 07 日 (火) 発行

編集長 野々垣和宏

〒400-0032 山梨県甲府市中央 3 丁目 10-7  
山梨 Y M C A グローバルコミュニティセンター☎055-235-8543 fax055-235-8553  
Mail kofu21@googlegroups.com

国際会長

ヨハン・ヴィルヘルム・エルトヴィク(ノルウェー)

“Waking the Sleeping Giant with Blue Music”「ブルーミュージックで眠れる巨人を目覚めさせる」

“YMI-Empowering Life”「YMI-人生を力づける」

アジア太平洋  
地域会長

ラチャン・マニカーン(タイ)

“Awakening the Asia Pacific with Blue Music” 「アジア太平洋地域をブルーミュージックで目覚めさせる」

“Empowering Communities, Inspiring Generations”「地域社会を力づけ、世代を鼓舞する」

東日本区理事

山下 真(十勝)

「挑戦なくして進化なし」

～響け 挑戦のブルーミュージック!!～

あずさ部部長

大和田 浩二(松本)

「親睦とCS活動を部の原動力として外へ飛び出そう」

～改革を引継ぎ、さらに発展させる!!～

甲府 21 クラブ会長 荻野 清

“Let's Be Friends Everyone” 「みんな、友達になろう!!」

“One Step Closer, Friends Forever” 「一歩近づけば、みんな友達」

今月の  
聖句神聖なものを犬に与えてはならず、また、真珠を豚に投げてはならない。  
それを足で踏みにじり、向き直ってあなたがたにかみついてくるだろう。  
マタイ福音書 7 章 6 節

赤池 譲司

## 7 月 巻頭言

“Let's Be Friends, Everyone”

「みんな、友達になろう」

甲府 21 ワイズメンズクラブ

会長 荻野 清

このたび、甲府 21 ワイズメンズクラブの会長を拝命するにあたり、本年度の主題「みんな、友達になろう」を掲げさせていただきました。これは、日々の生活の中での様々な方々との出会いが、一期一会の機会でもあり、未来永劫の付き合いとなる場合もありますが、出会ったその人となりから信頼を見だし、友人へと発展していくというものです。昨今のクラブ直近課題である会員減少を食い止める方策は、簡単には見出せませんが、日々の生活での出会いを大切にすると、フレンドリーな関係を築いていく先に“ワイズメンズクラブ”への勧誘が見えて来るのではないのでしょうか。

ワイズメンズクラブは、YMCA を支援し、奉仕と友情を通じて地域社会へ貢献することを目的とした国際的団体です。私たちのクラブも、これまで多くの奉仕活動や交流を通じて、地域に根ざした活動を展開してまいりました。上述の本年度の主題『みんな、友達になろう』は、この支援団体の輪をさらに拡大し、持続可能で意義のある活動を推進するための必要十分条件だと思います。クラブ会員の増員は、新規クラブ発足(Extension)の方向へとも考えております。

会員お一人おひとりがデベロッパーとなりませんか。

『みんな、友達になろう』・・・それは、すべての人に開かれた扉です！

今日、隣にいる誰かに声をかけてみませんか！

「こんにちは」「元気?」「一緒に話そう」・・・未来のワイズを求めて！

諸先輩方のお知恵とお力をお借りし、お友達づくりと共にワイズライフをエンジョイしましょう。どうぞ宜しくお願い致します。



## 2026 年度キックオフ例会プログラム

2026.07.07 (火) 18:30～  
山梨 YMCA 3 階大澤英二記念ホール  
会費：¥3,000

### ◆第一部 甲府 21 ワイズメンズクラブ総会

司会 藤原 琢也ワイズ

- ①開会点鐘
  - ②ワイズソング、ワイズの信条 (奏楽) 荻野優子
  - ③今月の聖句・ひと言 赤池 譲司ワイズ
  - ④会長挨拶 水越 正高会長
  - ⑤ゲストビジター紹介
  - ⑥あずさ部長挨拶 大和田浩二あずさ部長
  - ⑦ゲストスピーチ 山梨 YMCA 総主事 中田純子様
  - ⑧総会議事、議長選出 水越 正高会長
    - 1) 事業報告、決算報告 小澤 公紀監事
    - 2) 監査報告
    - 3) 新役員承認の件 荻野 清会長  
～新旧会長バッジ交換～
    - 4) 会長挨拶、議長交代
    - 5) 事業計画案、予算案承認の件
    - 6) メネット会報告 野々垣悦子メネット会長
- <総会終了>
- ⑨入会式 司式 野々垣健五 EMC 委員長  
 新入会者： 雨宮 潤さん 折笠 浩二さん  
 立会人： あずさ部長 大和田浩二様  
 山梨 YMCA 総主事 中田純子様

### ◆第二部 懇親会

司会 山口 了ワイズ

- ①開会の辞 荻野 清会長
- ②食前の感謝 松村禎夫ワイズ
- ③乾杯 葉袋勝副会長

～歓談～

- ④ハッピーバースデー
- ⑤YMCA 報告、諸報告
- ⑥YMCA の歌 (奏楽) 荻野優子
- ⑦閉会点鐘 荻野 清会長

### <7月の誕生者>

#### <メ>

鎌田 巖 (7/4) 浅川貴明 (7/8)  
 赤池譲司 (7/16) 功刀 弘 (7/28)  
 佐藤哲郎 (7/28)

#### <メネット>

依田礼子 (7/18) : 友紀夫人  
 松村保乃 (7/20) : 禎夫夫人



## Blue Music について

解説・ブリテン委員長 野々垣 和宏

野々垣

ブルーミュージック。それは単なる言葉やテーマではなく、ビジョン（展望）です。

ブルーミュージックはYMIの価値観の象徴です。そして、これこそがYMIを定義するものです。愛、共感、勇気、創造性、自由、無私、希望。これらは、人々を恐怖ではなく、友情（フェロウシップ）で結びつける価値観です。私たちは世界中のYMIでこれらの価値観を共有しています。

ブルーミュージックの反対はグレーミュージックです。それは暴力、戦争、不正義の音楽です。

歴史を通じて、善は世界を変えてきました。マハトマ・ガンジー、マーティン・ルーサー・キング・ジュニア、ネルソン・マンデラ、マザー・テレサ。彼らは一つの真実を証明しました。「善とは力である」と。

そして今日、世界はこれまで以上に行動としての善を必要としています。

2026年から2027年、YMIは「目覚める」よう呼びかけられています。

私たちの2026-27年のテーマは、「ブルーミュージックで眠れる巨人を目覚めさせよう」です。

その「巨人」とは、YMIそのもの、そのクラブ、その会員、その知恵、その世界的な力です。巨人は弱さゆえに眠っているのではありません。自らの力を忘れてから眠っているのです。そして私たちは、それを力や権威でなく、ブルーミュージックによって目覚めさせます。すなわち、喜びに満ちた友情、包括的なリーダーシップ、創造的なサービス、世代を超えた活動、そして勇気ある思いやりを通じてです。

行動としてのブルーミュージックとは、クラブのメンバーをキャンプファイヤーに集め、ミッションを変革することです。孤独と闘い、老化を強みとして祝福すること。廃棄物と闘い、持続可能な行動を促進することで地球を守ること。マラリアと闘い、YMIの国際プログラムを強化すること。YMCAとの連携を深めること。クラブレベルでの地域社会へのサービスを拡大すること。1,000の地域イニシアチブ、数百の参加者、無数の人生に力を与えること。

2026-27年のスローガンは、「YMI: 人生に力を与える」です。

人生に力を与えるとは、すべての人の中に価値を認め、慈善ではなく友情を、哀れみではなく尊厳を、同情ではなく機会を提供することです。

YMIのメンバーとして、私たちは組織の管理者ではありません。私たちは愛の力の提供者です。喜びをもって奉仕しましょう。行動を通じて愛を広げましょう。眠れる巨人を目覚めさせましょう。ブルーミュージックとともに、共に人生に力を与えましょう

## 6 月第 1 例会報告

2025-2026 書記 佐藤 利之

日時 2026 年 6 月 2 日 (火) 18:30 ~  
会場 山梨 YMCA

早いもので今期最後の第 1 例会になりました。(1 年間私の駄文にお付き合いいただきありがとうございました。)

今月の聖句では古屋ワイズが「あなたのみ言葉は、私の道の光、わたしの歩みを照らす灯」を馴染みがない私でも理解できるように丁寧にかつ前向きになれるよう解説いただきました。

会長の挨拶では一年を総括してくださり、一部抜粋ですが「銀河鉄道の森デイキャンプをはじめ、子供達と新しい挑戦をしてきた。会員一人ひとりの協力と世代を超えた支えあいによって乗り越えることが出来た。」と素晴らしいお言葉をいただきました。

チャリティーランの振り返りでは輿水幹事から「多くの参加者とボランティアの協力により盛況のうちに終了出来た。人とのつながりや奉仕の喜びを実感するとともに来年はより多くの協賛、参加者を迎えたい。」と総括いただきました。

荻野次期会長の紹介により新会員候補の雨宮さんがゲストで来ていただきご挨拶いただきました。期待の最年少で今後さらに会を盛り上げていていただきたいと思います。

1 年間ありがとうございました！



### < 6 月例会出席者 >

2026.6.2



54.5%

|             |       |
|-------------|-------|
| 会員数         | 44名   |
| 第一例会出席者     | 24名   |
| ゲスト出席者      | 1名    |
| メネット        | 0名    |
| 総出席者数       | 25名   |
| 出席率(会員のみのみ) | 54.5% |

## 今後の予定

< 7 月 >

7 日 第 1 例会@山梨 YMCA (キックオフ)  
ぶどうファンド 2026 開始  
21 日 役員会

< 8 月 >

1 日 あずさ部評議会  
4 日 第 1 例会

< 9 月 >

4~6 YVLF (ユースボランティアリーダーズフォーラム)@朝霧高原  
12 日 第 1 例会 ぶどう棚下例会  
21 日 子どもゆめ基金銀河鉄道デイキャンプ 1  
葦崎 YMCA 銀河鉄道の森

< 10 月 >

6 日 第 1 例会  
10? 日 県内外散策&グルメの会  
枯露柿ファンド受付開始  
27 日 第 2 例会 (バザー準備会)

< 11 月 >

2 日 バザー前日準備 (買いだし、テント設営)  
3 日 山梨 YMCA バザー (兼・第 2 例会)  
10 日 第 1 例会  
14 日 ベビーカーコンサート  
23 日 子どもゆめ基金銀河鉄道デイキャンプ 2  
葦崎 銀河鉄道の森

< 12 月 >

5 日 第 1 例会「クリスマス例会」  
12 日 グランドあずさの集い in 松本

## 6 月会計報告

会計 山口 了

[会計報告]

2026 年 6 月末現行



| 項目     | ニコニコ    | バザー     | トータル    |
|--------|---------|---------|---------|
| 目標値    | 250,000 | 100,000 | 350,000 |
| 6月の合計  | 21,950  | 0       | 21,950  |
| 6月末迄累計 | 276,397 | 100,000 | 376,397 |
| 達成率    | 110.6%  | 100%    | 107.5%  |

## ペンリレー

人間ドックをきっかけに考えた

「健康」と人とのつながり 饗場 裕

先日、人間ドックを受けてきました。毎年のこととはいえ、検査結果を待つ時間は少し落ち着かないものです。

普段は元気に過ごしていても、血圧や血糖値、コレステロール、体重などを数値で示されると、「もう少し健康に気を配らなければ」と気持ちが引き締まります。特に気になるのは体重です。若い頃と同じような食生活を続けていると、少しずつ体重は増え、気付けば健康診断で「肥満傾向」という言葉が並ぶこともあります。体重が増えると膝や腰への負担だけでなく、高血圧や糖尿病など生活習慣病のリスクも高まります。「まだ大丈夫」と思っている、健康は毎日の積み重ねで維持するものだと思えて感じました。運動不足の解消の為に、たまに皆でゴルフに行きます。18ホールを歩くだけでもかなりの運動量になり、クラブを振ることで全身を使います。スコアを競う楽しさはもちろんですが、青空の下で体を動かし、仲間と笑いながら過ごす時間は心の健康にも良い影響を与えてくれます。健康づくりは「続けられること」が何より大切であり、楽しみながらできる運動が一番長続きするのではないのでしょうか。

一方で、山梨には古くから「無尽」という素晴らしい文化があります。本来は助け合いのための仕組みとして始まりましたが、今では地域や仲間との交流の場として親しまれています。気の合う仲間と食事を囲み、近況を語り合い、笑い合う時間は、地域の絆を深める大切な機会です。ただ、無尽は楽しい反面、つい食べ過ぎたり飲み過ぎたりしてしまうこともあります。人間ドックの結果を思い出しながら、「今日は少し控えめにしよう」と意識することも健康管理には必要です。せっかくの楽しい集まりですから、無理に我慢するのではなく、料理の量やお酒の飲み方を少し工夫するだけでも違います。

健康でいるからこそ、これからも無尽に参加し、ゴルフを楽しむ、仕事にも元気に取り組むことができます。

人間ドックは病気を見つけるためだけではなく、自分の生活を振り返る良いきっかけです。健康な体があってこそ、趣味も仕事も、人との付き合いも楽しめます。山梨の豊かな自然、ゴルフを楽しむ時間、そして無尽で仲間と語り合うひととき。そのすべてを長く楽しむためにも、日々の食事や運動を少しだけ意識しながら、健康第一で毎日を過ごしていきたいと改めて感じた人間ドックでした。



## ◆YMCA便り◆

「繋がれたバトン  
次なる一步への使命」

総主事 中田 純子

ワイズメンズクラブの皆様、主のみ名を賛美いたします。日頃より山梨 YMCA の歩みを温かく見守り、祈りとお支えをいただいておりますことに、心より感謝申し上げます。

さて、6月に開催されました「東日本区大会」におきまして、皆様と共に石巻の地に集い、同じ祈りを捧げ、語り合えたことは、私にとりましても胸がじわっと熱くなるような、かけがえのない時間となりました。今回の大会が「石巻」という場所で行われたことには、神様が備えてくださった深い意味があったと感じております。

東日本大震災から歳月が流れた今もなお、現地の方々が痛みを抱えながらも一步一步歩んでこられた道のり。そして、その傍らに常に寄り添い、共に涙し、共に歩み続けてきた YMCA やワイズメンズクラブの足跡。それらは、「誰かのために生きる」というワイズマインドの本質を、私の心に改めてそっと問いかけてくれるものでした。困難の中でも前を向き、力強く生きる石巻の方々の笑顔、転んでもまた立ち上がる姿、そして今も大切に紡がれている支援と交流の絆に触れ、何度も胸が打たれ、目頭が熱くなりました。さらに今回は、会員総会に合わせ、「山梨 YMCA 創立 80 周年記念式典」を皆様と共に執り行うことができましたことも、言葉に尽くせないほどの大きな喜びであり、感謝の極みでございます。この長きにわたる歴史は、決して平坦な道のりばかりではなかったはずですが、それでも、ワイズメンズクラブの皆様をはじめ、多くの諸先輩方がその時々には尊い汗を流し、愛の手を差し伸べ、神様の確かなお導きの中でこの節目へと繋いでくださいました。

この大切な日を皆様と笑顔で迎えられたことは、これからの歩みへの大きな力となります。石巻の地で私たちが受け取ったのは、単なる感動だけではありません。それは、この 80 年という歴史の重みをしっかりと胸に抱きながら、「今、私たちが生きるこの山梨の街で、何をすべきか」という未来への尊いバトンです。山梨という地にあっても、日々の暮らしの中で孤独や課題を抱え、寄り添いを必要としている方々が必ずおられます。石巻でいただいたたくさんのエネルギーと、80 周年の節目に与えられた感謝の思い。これらをしっかりと山梨 YMCA の活動、そしてワイズメンズクラブの皆様との共同の奉仕へと繋げ、誰もがホッとできるような、温かい地域社会を皆さんと一緒に築いていきたいと、決意を新たにしております。

大会の開催に向けて心を尽くしてくださったすべての皆様に深く感謝いたします。ワイズメンズクラブの皆様の日々の歩みの上に、そしてご家族の皆様の上に、神様の豊かな祝福と慈しみが今日も明日も豊かにありますよう、心を込めてお祈り申し上げます。